

2025年 中学入試算数講評:麻布中学校

工夫をすれば、計算の負担をそこまでかけずに解けるような、試行錯誤からの発見を中心とした、「算数の楽しさ」や「考えることの楽しさ」が土台にあるシンプルな問題が例年多く出題されます。

大問3、4、5などがまさにそれで、問題としても面白かったです。

開成中学校をはじめとして、中学入試算数は年々出題が高度になってきていますが(弊社による[昨年の「良問大賞」記事](#)をご参照ください)、同校はそういった周囲の動きに捉われないといえますか、むしろ以前よりも取り組みやすい問題が増えました。そういったところも麻布らしいと個人的に感じますし、同校の受験生の学習負担が年々増えていくことがある程度防がれているとも思います。

2025年2月1日

ワンダーファイ代表 川島 慶